

第1学年 国語科実践事例モデル(在籍学級)

(1) 単元(または題材)名

「ダイコンは大きな根？」

(2) 対象生徒の状況

対象児童	母語(出身国)	日本語習得状況	当該教科に関する力
A	ポルトガル語(ブラジル)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本生まれ。 ・日常会話等生活言語は、ほぼ習得できている。 ・学習言語の習得が難しく支援が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習言語の理解が難しいため、説明的文章などは苦手である。 ・一問一答式の問題には積極的に取り組む。 ・心情などの理解はできるが、それを文章にするとできない。
B	ポルトガル語(ブラジル)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本生まれ。 ・日常会話等生活言語は、習得できているが、語彙が少ないため自分の伝えたいことがうまく言えないこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字学習の遅れや語彙の不足により、音読スピードが遅い。 ・学習言語が理解できていないために、教科書の内容を読み取ることができない。

(3) 単元(又は題材)の指導方針

今回は段落の細かい役割について指導していく。段落の役割のうち、「問題提起」「説明・解説」「根拠」「例示」「まとめ」を取り上げ学習させる。本教材は、比較的短く平易な文章のため、国語が苦手な生徒も段落の役割をとらえやすいと考える。

外国籍の生徒は、7名いる。教科書に出てくる言葉の意味が分からない生徒も、具体例を挙げて教師が言い換えて説明することで理解できることが多いため、念頭に置いて指導する。

図や絵を使って教科書の文章を理解させたり、文章を簡単な言葉に言い換えさせたりすることで文章の理解を深めていく問題提起のパターンをしっかりと認識させると共に「問題提起」の後には、必ず、その問題に対する「答え」と「説明・解説」が来ることを学ばせる。

(4) 単元(又は題材)の目標

①教科の目標

- ・段落の役割を考えたり、文章と図を照らし合わせたり、自分の生活と結び付けたりしながら、説明の文章を読もうとしている。(国語への関心・意欲・態度)
- ・各段落の役割を考えたり、図と照らし合わせたりしながら、文章の内容を的確にとらえる。(読む能力)
- ・辞書で調べた意味を文脈の中で確かめたり、専門用語を図で確かめたりして、内容の読み取りに生かしている。(言語についての知識・理解・技能)

②日本語の目標

- ・「問題提起」「説明・解説」「根拠」など説明文を学習するときに必要な語句が理解できる。
ターゲットセンテンス
 - ・問題提起は、「なぜ～でしょうか。」「なぜ～だろうか。」
 - ・理由・根拠は「～(だ)からです。」

(5) 単元の指導 (全6時)

次	学習活動	教師の働きかけ (発問○) 日本語表現の支援 (●)	指導上の工夫・留意点 (板書・ワークシート等)
1 3	第1時 本文を通読し、漢字と語句の意味を確認。 第2時 序論・本論・結論に分ける。 第3時 1～3段落について内容を読み取り、段落の役割を理解する。		<ul style="list-style-type: none"> ・図や絵を使って教科書の文章を理解させたり、文章を簡単な言葉に言い換えさせたりすることで理解を深めていく。
4	<div style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">本時 (次) の目標</div> (1) 教科の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・胚軸と根で味が変わる理由を読み取ることができる。 ・4～7段落の役割を理解できる。 ・問題提起の後に、その問いに対する答えと解説がくることが理解できる。 (2) 日本語の目標 <ul style="list-style-type: none"> ・「問題提起」「説明・解説」「根拠」など、説明文を学習するときに必要な語句が理解できる。 		
	① 漢字テストを行う。 ・ペアで答え合わせをする。 ② 本時の学習内容と目標を知る。 ・4～7段落を音読する。 ③ 問題提起を確認する。 ・4段落における段落の役割は何か確認する。 ・問題提起の例文を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字ノートの宿題チェックを授業前にしておく。 ・漢字が読めない生徒には、あらかじめルビ付きの教科書を渡しておく。 ・まる読みさせる。 ・大きな声ではっきり読ませる。 ・問題提起のパターンを理解させる。 ・「なぜ～でしょうか。」を使い、いくつか文章を作らせる。 	【理解支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ～でしょうか。」が問題提起の形であると示す。

4	<p>発問 ○問題提起にあたる部分を分かりやすく言い換えてみよう。</p>	<p>④ 4段落における問題提起を言い換える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穴埋めに答えを当てはめていく。 ・胚軸と根の味と位置を確認する。 <p>⑤ 5段落を音読する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「器官」を「胚軸」と「根」に言い換えさせる。 ・4段落の文章の順番を考えさせ、どのようなことを伝えているのか理解させる。 <p>【理解支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穴埋めの形にして、4段落をまとめる。 <p>【表現支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図（イラスト）を使って、説明する。
	<p>発問 ○胚軸が甘いのは、なぜですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・甘い理由が書かれている部分に線を引く。 ・甘い理由を自分の言葉で説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由の表現方法として、「～だから」をおさえる。 ・生徒に図を使って説明させる。 <p>【表現支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図（イラスト）を使って、説明する。
	<p>発問 ○根が辛いのは、なぜですか。</p>	<p>⑥ 6・7段落を音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根が辛い理由をノートにまとめて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～だから」という形でまとめさせる。 ・机間指導をする。 <p>【表現支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由は「～だから」と答えることを確認する。
	<p>第5時 8・9段落の内容を読み取り、段落の役割を理解する。</p> <p>第6時 全体の構成を理解し、筆者の主張をとらえる。</p>		
5 6			

(6) 板書及びワークシート・配付資料

④ 問題提起
なぜ(胚軸と)根から(味)が送られるのでしょうか。

理由
味 甘い
根で吸収した水
地上に送り、葉で
糖分を根に送るから

水分や養分の流れは？ 生徒の言葉で、図も用いながら説明させて、クラス全体で内容の定着を図る。

今何を問われているかが明確になるように板書を構成。

(7) 単元を通じての成果と課題

<成果>

- 文章から読み取ったことをイラストを使って生徒に説明させることで、内容理解を助けることができたと思われる。

<課題>

- 「～だから」のような理由表現はたくさん練習できる授業ではあるが、そもそも「なぜ、そこが理由を表しているのか」を考える機会を設けるべきだった。子どもの考える力を伸ばす展開になっているか、検討の余地がある。
- 分からない語句が出てきたら、常に辞書を引く習慣を身に付けさせることを徹底して、生徒の語彙力を増やしていく必要がある。
- 易しい問題ばかりではなく、難易度の高い課題も入れながら、考えたい時間を増やしていく。